情報通信審議会 情報通信技術分科会 公共無線システム委員会

技術的条件作業班（第4回）議事要旨

１ 日時

平成21年7月23日（木） 14時00分～14時35分

２ 場所

総務省10階 第1会議室

３ 出席者(敬称略)

（1）構成員

原田 博司(主任：(独)情報通信研究機構)、加藤 数衛（主任代理：(株)日立国際電気）、
芦屋 秀幸（国土交通省）、小野 光洋（富士通(株)）、狩俣 恭太郎（（社）電波産業会）、
志賀 康男（警察庁）、鈴木 淳（（財）移動無線センター）、竹内 嘉彦（日本無線（株））、
成澤 昭彦(代理：川瀬 克行（パナソニック（株）））、
柳内 洋一（代理：木下 学（日本電気（株）））、山崎 高日子（三菱電機（株）） 、
渡辺 知尚(消防庁)

（2）事務局

鈴木 信也（基幹通信課長）、林 義也（基幹通信課課長補佐）、
新田 隆夫（重要無線室長）、根本 朋生(重要無線室課長補佐)

４ 議事

（1）前回議事要旨(案)の確認

公共無線システム委員会技術的条件作業班（第3回）の議事要旨（案）が了承された。

（2）技術的条件について

加藤主任代理より説明が行われた。主な質疑は以下のとおり。

原田主任：前回までの内容だと、変調方式は BPSK、QPSK、16QAM の方向で考えていたと思うが、今回それに64QAM を加えるということか。

加藤主任代理：下りの中の1種類として、64QAM も考えられるのではないかということ。

竹内構成員：前回までは上り回線の議論で下りについては特に触れていなかったが、下りのレートをあげるとなると、64QAM というのも考えられるのではないかということ。

（3）下隣接システムとの共用条件についての考え方

加藤主任代理より説明が行われた。主な質疑は以下のとおり。

原田主任：このガイドラインに従って、次回以降、共用検討の結果を示していくということか。
また検討は、特に与干渉のみについて行うということか。
加藤主任代理：被干渉については、影響は比較的小さいとは思うが、ある程度検討はする。

（4）その他

最後に、事務局から、次回の作業班は8月26日の午後に開催するとの連絡があった。

【配付資料】
資料 2028-WG-4-1　公共無線システム委員会技術的条件作業班(第3回)議事要旨(案)
資料 2028-WG-4-2 「技術的条件」の根拠説明について
資料 2028-WG-4-3　下隣接周波数帯を使用する無線システムとの共用検討
資料 2028-WG-4-4　公共無線システム委員会技術的条件作業班構成員